

## 1 周辺地域の歴史・文化について 三木家住宅：兵庫県赤穂市浜市

### ◆地域のキーワード

- ⇒海・山・川があり廻船で栄えた流通の場所
- ⇒清酒・牡蠣などの特産物が有名
- ⇒塩・木津大工・赤穂段通などの生産や文化で有名
- ⇒歴史的な史跡や祭りが残っている

### ◆三木家住宅

- ⇒度重なる水害にあっても残存する木津大工に建てられた貴重な建物
- ⇒庄屋の一部として流通を支えてきた歴史がある



## 2 周辺地域の調査から見えてきた課題 赤穂市の取り組み・坂越エリアの観光・まちづくりの事例を調査

### ◆赤穂市観光戦略における課題

- ⇒新たに狙うべきターゲットは20代・30代の男女。インバウンドの訪日意欲も高く考慮すべき
- ⇒赤穂市は来訪者のリピート率が高く、いかに初回の来訪者を呼び込むことが鍵になる

### ◆坂越エリアの観光課題

- ⇒食・歴史以外の“文化的”な体験ができる観光資源がない
- ⇒坂越エリアの情報が得にくく、観光資源の発信がほぼされていない

### ◆その他坂越エリアの課題

- ⇒人口減少により空き家の増加や伝統行事・文化継承の担い手が不足している

### ◆まちづくり事例より坂越が取り組むべき課題

- ⇒近年のまちづくりには中心となる地域の魅力を伝える人物が存在し、まちづくりが発展する傾向がある
- ⇒まちづくりの起爆剤となる拠点も必要

## 3 提案

### ◆課題まとめ

#### 1 観光戦略における課題

- インバウンド、20～30代を集客や初回の来訪者が呼び込みたいが
- ⇒食・歴史以外の“文化的”な体験ができる観光資源がない
- ⇒情報が得にくく、観光資源の発信がされていない

#### 2 坂越エリアにおける課題

- 人口減少、少子高齢化から三木家住宅など空家が増加や伝統行事や文化の後継者不足
- ⇒まちづくりの中心となる人物がいらない
- ⇒中心となる拠点が無い

だからこそ、三木家住宅ができることは…



歴史・文化を体験でき、情報を届ける拠点となる

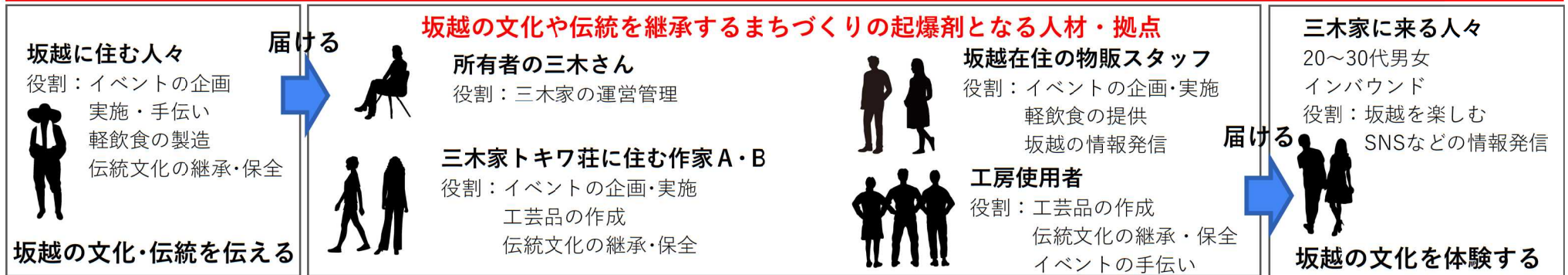
- ・地域の歴史文化を継承し人材を育てる
- ・魅力的なイベントがあり人々が集まる

## 4 プログラム 歴史や文化を体験し情報を届ける拠点

### ◆コンセプト

#### “届け場”三木家工房～歴史・文化をつなぎ、つくり、届ける場～

- ・ **体験を届ける** ⇒ 坂越を体験できるイベントやワークショップを通年を通しておこなう。  
(体験エリア 飲食・応接エリア イベントエリア)
- ・ **伝統を届ける** ⇒ 坂越の伝統や文化などを担う工芸作家や人材の支援をおこなう。居住をしながら制作活動がおこなえる。  
(工房エリア 居住トキワ荘エリア)
- ・ **モノを届ける** ⇒ 工房で作られた作品や赤穂の工芸品を販売。軽飲食(坂越で作られたお菓子とお茶程度)を提供する。  
(飲食・応接エリア 物販エリア)
- ・ **交流を届ける** ⇒ WEBサイトやSNSを利用して三木家住宅での活動や坂越の情報を発信し、三木家に集まる人々の交流をつなぐ。  
(物販エリア)



### ◆“体験を届ける”イベント・ワークショップなどの提案

- 通年**：陶芸・赤穂段通・木津大工体験・牡蠣殻を利用したワークショップ・坂越を学び、体験できるガイドツアー
- 春**：坂越の桜をめぐるサイクリングツアー・坂越の桜で押し花ワークショップ・播州赤穂の名産、塩味饅頭づくり  
作成した陶芸作品でお茶会・縄文土器づくり
- 夏**：広いお庭を利用してキャンプ体験・坂越盆踊りを踊ってみよう♪・井戸水で冷やしたスイカでスイカ割り・流しそうめん大会  
ビアカップづくり
- 秋**：坂越舟祭りの「カイビキ」作り・坂越舟祭りのシデ振り体験・坂越の紅葉をめぐるハイキングツアー・焚火で焼き芋づくり  
落ち葉アートワークショップ
- 冬**：古民家でお餅つき体験・こたつでおっぱい鍋・赤穂の地酒を味わう利き酒会・赤穂みかんを使ったお菓子づくり  
獅子舞いづくり

## 5 配置/平面図



## 6 イメージ 外観・内観パース

<外観 建物正面>



<①玄関から物販エリアを見る>



<③庭2イベントエリアと工房>



<④トキワ荘内部>

